



【NuForce P-9】

PRICE ¥472,500/税込

NuForce

「思っていたよりも小さい！」と多くの人が実物を見て「そのサイズとデザイン性にまず目を見張り、一聴すると誰もがそのコストパフォーマンスの高さに驚かれます。私がご紹介するのは、常にサブプライズを届けてくれる話題の新ブランド「NuForce P-9」です。P-9に続き登場した本機は、電源BOXとアナログBOXと2つの独立した筐体で構成。電源BOXの基板上ではさらに右チャンネル用左チャンネル用、ディスプレイ用と電源が3つに分かれており、アナログBOXにおいても左右別々にオーディオ回路が銅板の箱により完全にシールドされているという徹底したノイズ対策を実施。よってセパレーションの素晴らしさとS/Nの良さは格別です。また、前モデルと大きく違うのはポリリウムノブをBOX毎につけ、実際の音量調節にアナログポリリウムを採用したこと（デュアルドライブコントロール）。それは赤外線を受けるリモコン受光部と制御するマイクプロセッサは電源BOXに、そこからアナログポリリウムを動かす電流だけがアナログBOXに入るという構造からなるもの。ここにも超低ノイズに対する姿勢がうかがえます。斬新奇抜で一見デジタルライクなNuForceですが、チーフ

でもらうべき優秀なる機種なのです。何と言っても上位機種KLEIMAX KONTROLと同じ設計思想のリアンプ回路が重要ポイント。空中配線をなくし、多層基板による立体回路/シグナルパスの極短化を徹底したレイアウトにより、高音質再生の大敵である振動やノイズが激減、音質に劇的な効果をもたらすのです。シングルアンプリミテッド「ホス サイズ ナウ」の幾重にも織り重ねられるアカバロコースの重層感、艶感、唇の動きをも感じるライブ感は素晴らしい、自らの身体が心地よい音色にふんわりと包み込まれる幸福感を覚えます。これは微細な信号までノイズに埋もれず我々の耳まで届けてくれるAKURATE KONTROLならではでしょう。

また、優れた「ステレオリアンプとしての能力に加え、高級リアンプとしては数少ない5.1chアナログ入力も搭載し、SACDマルチに対応する貴重な存在。そして特筆すべきは、内蔵するMM/MCフォノイコライザーの素晴らしさ。LINNライナップ中最新設計のMCフォノ回路と、弟分MAJIK KONTROLにも搭載の優秀なMM回路、双方を3兄弟中唯一搭載。定番単体フォノであるLINNTOの良さと別に、AKURATE KONTROLのフォノには、高密度実装し小型化された回路がもたらすキレのよさ、鮮度の高さ、それでいて何とも自然で無理のない滑らかさがあるのです。特にヴォーカルものではその持ち味が最大限に発揮され、すっかり時間を忘れて聴き惚れてしまいます。あらゆることをこなせる万能選手より、一芸に秀で特徴を掴み易い方に面白味を感じるのには人の常ではありますが、これほどの機能性と優れた音質再生力を両立させたAKURATE KONTROLはまさにその名の通り「ACCURATE」なスーパーリアンプなのです。実際に使ってこそ実感できる、音楽を愛するLINNによる地味ながらも丁寧で細やかな仕事ぶりに、ぜひお一人でも多くの方に触れていただきたいのです。

OCTAVE

「OCTAVE」のリアンプHP500SE。

「静かだね！本当に真空管？」お客様はどなたも口をそろえて、そう仰います。並のトランジスタアンプよりはるかにS/Nが良いことにまずは驚かれるのです。その静けさは何とも言えない濃密な気配を湛えています。ヴァイオリンが旋律を奏でようとして、弦に弓が触れた刹那、思わず息を呑み、リアンプを見直しましょう。「本物だー」と。ルックスはドイツらしい質実剛健な佇まいであるのに、会社は

エンジニアのCasey Ng氏、実は大のアナログ好き。P-9で同社のアンプとしては初めてアナログポリリウムを採用したのも、設計者のDemian Martin氏とCasey Ng氏共通のアイデアによるもの。デジタルで管理しながらもアナログで制御する構成や、奏でる音から音楽性の高さや滑らかさを感じるのにはそんなNg氏の手腕が遺憾なく発揮されているからでしょうか。その威力を裏付けるのがサウンドクリエイトのある日の出来事。緻密な音像表現と空気感たっぷりの気持ちの良いホール感が定評のB&W802D。店頭にある様々なアンプを組み合わせ、スピーカーの持ち味を最大に生かすべく試行錯誤していた時、「鳴るかな？」と試してP-9を導入してみたところ、透き通るような静寂の中に濃くして存在する明瞭で軽快なサウンドが実現！快晴がゆえにいつもよりも色鮮やかに映し出される大自然の中にいるよう……。上下、横、奥行きにいたるまで空間の表現がなんとも心地良い。加えて、同時期に発売されたNuForceのパワーアンプRef9V2SEとの相性は抜群。音楽のダイナミズムを巧みに操りLIVE感音源をも限取深く再生し、より壮大なサウンドステージが浮かび上がります。イギリス「ホテルカリフォルニア」の冒頭部分のバスターラムが体に響くほど浸透性のある低音を聴かせ、



【LINN AKURATE KONTROL】

PRICE ¥882,000/税込

1980年創立。歴史を誇るメーカーというわけではありません。では、どんな生い立ちなのでしょう？OCTAVEは、現経営者アンドレアス・ホフマン氏の父親が経営する工業用トランスの製造会社に端を発します。そこで得た技術やノウハウをもとに進化を続け、一つの答えとして開発されたHP500。自社製のトランスを使った高い安定性と大容量を誇る電源部や、独自のハイブリッド技術を用いてすべての部品を基板に配した音声回路など……。



【OCTAVE HP500 SE】

PRICE ¥1,659,000/税込

いくつもの常識を覆し、完成し得たHP500SEは、システム全体をまとめあげる強い支配力とリアンプとして究極的な高S/N比の獲得。

リアンプは人間の身体でいえば、指令を出す「頭脳」にあたるということ。入社1日目に教わりました。パワーアンプをしっかりとコントロールできることが、充実した音楽再生においていかに大切か、自分でも今まで何度身に沁みて感じたことか！HP500SEと同じく高い能力を誇る同社のパワーアンプMRE130MKIIはもちろんのこと、球、石を問わず様々な高性能パワーアンプとの組み合わせで、その「頭の良さ」を音楽を通して実感することが出来ます。

サウンドクリエイト

P 注目のPREAMP

JAZZトリオではベースの弦の響きがより明晰に。この組み合わせ、自分の目を疑わずにいられません。本当にこの小さな筐体が操る音なのかと。どんなスピーカーに合わせても必ず今までは違った一面をみせてくれる革新的な部分を持つ、長年オーディオを愛し、音楽を愛してきた友人をもうならせる実力派リアンプNuForce P-9。このサブプライズを体験せずして今年が終われません！

LINN

AKURATE、英語として正しくはACCURATE。それは、間違いない。正確な、精密な、といった意味を持ちます。LINNは現在、入力から出力までトータルサウンドシステムが組めるライナップとして、MAJIK・AKURATE・KLEIMAXという3種類のシリーズを有しています。AKURATE KONTROLは、それらのシリーズの司令塔として機能するリアンプである「KONTROL三兄弟」のいわば次男坊にあたる存在。素晴らしいハイパフォーマンスで魅せる長男KLEIMAX、優れたコストパフォーマンスで着々とファンを増やしている三男坊MAJIKの両者の狭間で、少々目立ちにくく地味な存在に映りかねません。しかしながら、このAKURATE KONTROLは真の「スーパーリアンプ」としてもっとも幅広く認知し

「HP500」が誕生したのは20余年も前の1987年。以来OCTAVEはずっとこのリアンプをフラッシュアップさせて続けています。それを聞いてHP500SEの佇まいに納得がきました。また、もう一つ気づかされたことは、LINNのアナログプレーヤー「SONDEK LP12」の背景に通じるパッションが潜んでいるということ。20年、30年と熟成されたHP500SE、LP12SEはある種の究極に近づいていて、だから発売から何年たっても古びずにかげがえのないものとして求め続けられるのではないのでしょうか。HP500SEのフォノ入力を通して、「ワルツフォーデニー」をLP12SEでは非一度聴いてみてください。まだまだオーディオ経験が浅い私にさえ、彼らは大きな指標を与えてくれました。「アナログプレーヤーのLINN」、「リアンプのOCTAVE」という図式が私の中にじわじわと根をはりつつあります。彼らはいずれまた素晴らしい銘機を送り出し、私たちを驚かせてくれるに違いありません。今秋OCTAVEから、リアンプ「JUBILEE」が発売予定。その「頭脳」は凄いのを通り越し、恐ろしいほどだが、プリメイン「V80」も新たにライナップに加わり、しばらくOCTAVEからは目が離せません。

〒104-0061 東京都中央区銀座5-10-6 第一銀座ビル7F
 フリーダイヤル / 0120-62-8166 FAX / 03-6253-8836
 営業時間 / PM 12:00 ~ PM 7:00 定休日 / 火曜日 (祝日を除く)
 URL/http://www.soundcreate.co.jp Mail/info@soundcreate.co.jp

